

★思考力を育む学び 「協働的学び」

- ・ペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れます。また、話し合いのルールを明確にし、互いの意見を尊重する態度を育みます。
- ・自分の考えを言葉で表現する力を高めるため、発表の機会を多く設けていきます。

★一人一人の教育的ニーズに応じた学び

「自己調整力」

- ・子どもの理解度を把握し、必要に応じて個別に指導することで、つまづきを解消し、基礎基本の定着を図ります。
- ・できたことや努力したことを具体的に認め、クラス全体で共有し、自己肯定感を育み、粘り強く取り組む態度を養います。

★確かな学力・カリキュラムマネジメント

「上作延らしさ」

- ・国語科と生活科の学習を連携するなど、教科横断的な学びを意識します。また、地域の方に協力を要請し、子どもの興味関心を広げ、より深い学びへとつなげられるような活動を模索します。
- ・学んだ成果を発表する機会をつくり、学びを整理し、表現する力を高めることをめざします。

★豊かな心を育み互いに尊重し合う学校

「認め合い」

- ・友達の良いところを見つけ、言葉で伝える「認め合いの言葉かけ」を日常的に行います。クラス全体で共有する時間をつくり、「ありがとう」や「いいね」などの感謝や称賛の言葉を交わせる温かい雰囲気をめざします。
- ・係活動や当番活動を通して、役割を果たすことの大切さや、友達と協力して活動することの喜びを体験し、連帯感を育みます。
- ・日常の生活の中で、互いの違いを認め、尊重することの大切さを繰り返し指導し、多様な価値観に触れ、共感する心を育みます。

★主体的に活動する態度の育成

「自分からやってみよう」

- ・調べ学習や育てる活動といった“興味のあることに主体的に取り組む機会”や、係・当番活動や実行委員などの“自身の役割に責任感をもって取り組む機会”をつくり、子どもたちが自分で考えて行動する力を育みます。
- ・子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にし、可能な限り挑戦できる機会をつくりサポートを行っていきます。

★心身ともに健康で元気な学校

「安心・安全」

- ・子どもたちが安心して生活できるように、学年全体で子どもたちの様子に気を配り、困っている子にすぐに声をかけられるようにします。
- ・学校生活の様々な場面での危険を予測し、安全な行動について具体的に指導します。

★地域に根ざした開かれた学校づくり 「つながり」

- ・学年だよりや連絡帳、個別懇談などで保護者との情報共有を密に行い、子どもたちの学校・家庭での様子を具体的に伝え合うことで、家庭での支援につながるようにします。

★教職員の指導力の向上「チーム協働」

- ・学年で、子どもたちの様子や指導上の課題・成功事例、今後の見通しなどを積極的に共有し、子どもたちへの丁寧な対応や指導につなげます。